

区民参加型展示

実施団体 荻窪地域区民センター協議会



荻窪の記憶Ⅱ

天沼 100 年の歴史

荻窪駅北口に広がる住宅地・天沼

多彩な人々が居を構えた天沼が
どのように生まれ発展してきたのか
100年の歩みをたどります



約 100 年前（1923 年）の天沼八幡神社周辺
（天沼八幡神社蔵）



現在の天沼八幡神社周辺（2018 年 12 月撮影）

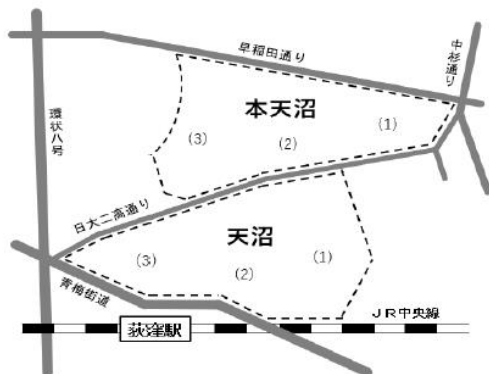
平成 31 年 1 月 12 日（土）～ 3 月 10 日（日）



杉並区天沼 3-23-1（天沼弁天池公園内） JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩 10 分
問合せ Tel:03-5347-9801

荻窪の記憶Ⅱ 天沼100年の歴史

荻窪地域区民センター協議会では、地域の皆様のご協力を得て郊外住宅地・荻窪の歴史を掘り起こし、後世に伝えるプロジェクトに取り組んでおります。「荻窪の記憶」展はその成果の一端をご覧いただくもので、第1回の荻窪駅南口周辺の大田黒公園付近の歴史に続いて、今回は北口周辺の天沼地域の歴史を取り上げます。



「大正初期之荻窪附近略図」(部分) 矢嶋又次画

第1部 郊外住宅地・天沼の 誕生と発展の軌跡



脚気の治療薬を開発した
つづきじんのすけ
都築甚之助 (1869-1933)

(個人蔵)



近代歯科技術をもたらした
いちのいまさつね
一井正典 (1862-1929)

(個人蔵)

明治末の天沼に
別荘や研究所を建てた
“ドクトル”たち…

第2部 皇族、軍人、文化人… 多彩な住人たち



太宰治が昭和初期に最初の妻と暮らした
碧雲荘 (2016年撮影・現在は大分県に移築)



かやのみやつねのり
賀陽宮恒憲王別邸 (『躍進の杉並』より)

《展示ガイド》 ガイド 松井和男 (荻窪地域区民センター協議会)

1月26日(土) 午後2時~3時 2月23日(土) 午後2時~3時 開始時間に直接、展示室におこしください

場所：杉並区立郷土博物館分館 西棟1階展示室
杉並区天沼 3-23-1 (天沼弁天池公園内)
JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩10分
※車でのご来場はご遠慮ください

開館時間：午前9時~午後5時

観覧料：無料

休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日の場合は翌日が休館)

問合せ：Tel 03-5347-9801

H P : <http://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/>

